

ごあいさつ

東急グループは、創業以来「まちづくり」を中心に、地域に密着したさまざまな事業を通じて、安心して豊かな暮らしの実現に取り組んでおります。そのため、収益事業のみならず、社会貢献活動を重要な事業として位置づけ、長年にわたり財団活動を行ってまいりました。

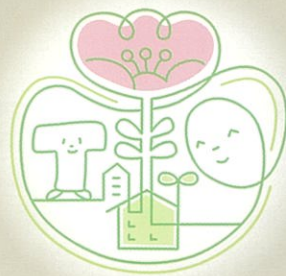
「東急財団」は2019年4月、「とうきゅう環境財団」「とうきゅう留学生奨学財団」「五島記念文化財団」の3つの財団を統合して誕生しました。財団活動の原点は、1974年の「とうきゅう環境浄化財団」設立時の想いにあります。急激な経済発展を背景に公害問題が深刻化するなか、まちづくりを営む企業の社会的責任として、事業エリアを流れる多摩川とその流域の環境浄化を図りたいと考えて取り組みをスタートしました。3つの財団はそれぞれ、こうした設立時の社会課題を踏まえ、その解決に主体的に取り組む個人の方や団体への支援事業を中心に、地域社会の福祉向上・国際親善・文化芸術の振興に力を尽くしてまいりました。

財団設立から45年以上が経ち、社会環境は大きく変化しました。これまでの取り組みが一定の成果を生む一方、新たな社会課題も生まれています。また、NPOの活動が活発化するなど、社会課題に取り組む主体も分野も多様化し、3財団が支援を行ってきた活動対象の枠を超え、さまざまな取り組みが行われています。私たち東急財団は、設立時の想いは大切に引き継ぎながら、こうした社会の変化をとらえて、取り組みを柔軟に進化させていきたいと考えております。

東急グループでは、グループスローガンに「美しい時代へ」、存在理念には「美しい生活環境を創造し、調和ある社会と一人ひとりの幸せを追求する」ことを掲げています。私たち東急財団も、この理念のもと、安全・安心・心豊かに暮らせる真に豊かな地域社会づくりのお役に立てるよう、皆さまとともに社会課題に取り組んでまいります。

今後とも、ご支援のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 東急財団
理事長 金指 潔



役員・評議員

五十音順

理事長	金指 潔	東急不動産ホールディングス(株) 取締役会長
常務理事	多田 和之	東急(株) 社長室長
理事	桑子 敏雄	東京工業大学 名誉教授
	小林 真理	東京大学大学院人文社会系研究科 教授
	佐藤 俊樹	東京大学大学院総合文化研究科 教授
	高橋 陽子	(公社)日本フィランソपी協会 理事長
	板東久美子	日本司法支援センター 理事長
	涌井 史郎	東京都市大学 特別教授
監事	島本 武彦	東急(株) 常勤監査役
	長岡 美奈	長岡公認会計士・税理士事務所 代表
評議員	鈴木 賢一	(福)NHK厚生文化事業団 理事長
	富田 哲郎	東日本旅客鉄道(株) 取締役会長
	巴 政雄	東急(株) 代表取締役副社長執行役員
	西川 弘典	東急不動産ホールディングス(株) 代表取締役社長 社長執行役員
	野本 弘文	東急(株) 代表取締役会長
	平野 信行	(株)三菱UFJ銀行 特別顧問
	渡邊光一郎	第一生命保険(株) 取締役会長

2021年7月1日現在

財団概要

名称	公益財団法人 東急財団 The Tokyu Foundation
設立	1974年8月28日 (2010年10月1日 公益財団法人に移行)
基本財産	38億円 (2021年3月31日現在)



公益財団法人
東急財団

〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号

TEL:03(3477)6301

URL <https://foundation.tokyu.co.jp>

公益財団法人 東急財団



2021年7月 発行

つながり、はぐくむ 続く未来と真の豊かさ。

「東急財団」は、一人ひとりが幸せに暮らせる真に豊かな地域社会の実現に向けて、皆さまたともに社会課題に取り組んでいく組織を目指します。国連が定める「持続可能な開発目標(SDGs)※」では、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。私たちもこの誓いの下、多くの方々とつながり、より良い未来につながる活動に積極的に取り組んでいきます。

※2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2016年から2030年までの国際目標。

<p>東急財団のミッション</p> <p>地域社会の持続可能な発展</p>	<p>重要テーマ</p> <p>次世代育成</p> <p>持続可能な発展のためには「次世代の育成」が不可欠です。地域を支える市民活動の担い手への支援など、幅広く将来につながる活動に力を入れていきます。</p>
--	---



■ 環境部門

社会的責任ある企業としての責務を果たすべく、東急グループの事業地域の中心を流れる多摩川とその流域の環境浄化を目的に、研究助成や啓発活動を行う財団として開始。以来、多摩川とその流域の環境保全・改善に向けて、研究助成や環境活動支援、環境啓発活動に取り組んでいます。

● 多摩川流域の

環境に関する研究助成

・学識研究者および一般の人を対象とした「多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究」への助成



● 環境活動支援

・多摩川流域の環境回復に関するイベントや活動に対する助成
・「東急財団 社会貢献環境学術賞」の実施



● 環境啓発活動

・環境学習副読本、機関誌の発行

1994年から環境学習副読本の制作・無償配布(流域の小学校等)を開始、現在までに30万部を配布(2020年に内容の全面改訂を実施=写真)。

【2020年度までの実績】

研究助成1,309件(学術研究820件、一般研究489件) 助成金総額15億2千万円

■ 国際交流部門

日本と諸外国との協調および国際理解の促進、国際交流・文化交流の増進、友好的な善隣関係の樹立を目的に、外国人留学生への奨学助成をする財団として活動を開始。以来、外国人留学生に対する奨学金給付や交流活動で、経済的・精神的支援に取り組み、国際親善にも寄与しています。

● 留学生支援制度

- ・日本の大学院で勉強・研究しているアジア・太平洋諸国からの留学生に対する返済義務を伴わない奨学金給付、国内学会出席旅費補助、医療費補助
- ・奨学生のための例会、研修旅行、社会見学をはじめとしたコミュニケーション活動



これまでの奨学生が家族連れで集う「合同例会」



高尾山ハイキング



奨学制度説明会

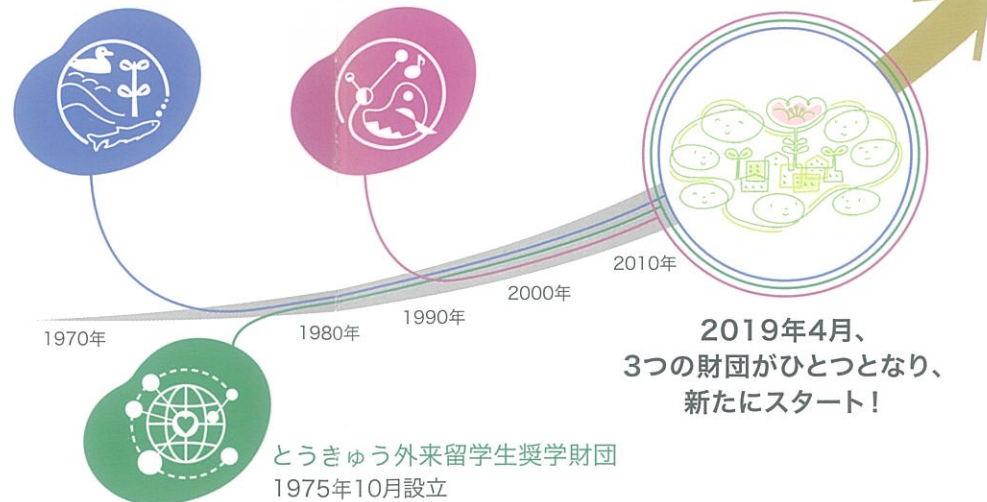
【2020年度までの実績】

奨学生28カ国927人 奨学金総額27億5千万円

とうきゅう環境浄化財団
1974年8月設立

五島記念文化財団
1990年3月設立

東急財団



■ 文化芸術部門

文化的に豊かな社会の実現と、日本および世界の文化の向上・発展に寄与すべく、芸術・文化の分野での優秀な新人や、創造的で優れた芸術活動を行っている団体への顕彰・助成を行う財団として、活動を開始。オペラと美術の分野における有望な若手人材への贈賞や助成、日本のオペラ団体への公演助成を行い、文化芸術の振興に取り組んでいます。

● 芸術家育成支援

- ・オペラ・美術分野における今後の成長が期待される若い人材を選抜し、「五島記念文化賞」を贈賞、1年間の海外研修費用を助成
- ・帰国後の研修成果を発表する機会の提供および助成



令和2年度 五島記念文化賞贈呈式
(前段左からオペラ新人賞 中嶋 俊晴・砂田 愛梨、美術新人賞 庄司朝美)

● 芸術活動助成

- ・オペラ公演に対する助成

オペラ部門 新人賞受賞者
松田奈緒美の
成果発表リサイタル(2019年)



【2020年度までの実績】

新人賞140人(オペラ部門77人、美術部門63人)、研修成果発表113件(オペラ57件、美術56件)、オペラ公演助成139件 助成金総額13億3千万円